

「創立117年目、新しい歴史創りに挑む」

口加高等学校長 狩野 博臣

時代は大きく変わろうとしています。昨今の教育改革は、幕末から明治維新の改革に匹敵するとも言われています。口加高校は伝統に胡坐（あぐら）をかくだのではなく、時代の風を敏感にとらえながら常に進化する高校でありたいと考えています。以下、来年度からの主な学校改革について記したいと思います。

来年4月、**県内公立高校初となる福祉科**を設置します。介護資格の中でも唯一の国家資格である「介護福祉士」の資格を最短18歳で取得できます。新しい時代に必要とされる知識や技術、福祉のこころを学んだ福祉のリーダーを育成します。また、卒業後は、上級学校へ進学し社会福祉士、理学・作業療法士などを取得することでスキルアップすることも可能ですし、将来は、高等学校の福祉科教員や行政など活躍の舞台は無限に広がっています。

また、**グローバルコースを特別進学コース**と位置づけます。4年制の国公立大学や私立大学への進学を目指す生徒を募集します。島原半島の学力や志の高い中学生が憧れ、集い、共に切磋琢磨するコースにし、各分野における次代を担うリーダーを育てたいと考えています。グローバル社会で活躍できる人材の育成のため、「大学入学共通テスト」における筆記試験や英語4技能評価（英検などの外部検定試験）や人物の多面的評価なども始まります。新しい大学入試への対応に加え、思考力、創造力、自己表現力、チャレンジ精神など時代が求める資質・能力も育成してまいります。「経験に勝る学びはない」という信念のもと、学びの場を校外や海外にも求めるとともに、定員が40名という少人数のメリットも最大限に活かしてまいります。

さらに、学科・コースの特長を出し、学力向上を図るため、**授業時数を増加(1週間当たり3時間増加)**させます。それに伴い**早朝補習を廃止**しますので、余裕を持って登校できるメリットもあります。県内の多くの学校が早朝補習を廃止して数年経ちますが、学力低下や進路実績の下落は全くみられないことを申し添えます。加えて、27年ぶりに**制服を一新**しますので、新しい制服に身を包んだ新生と共に、口加高校の新たな歴史創りの第一歩を踏み出します。

在校生の中には、東京大学、大阪大学、九州大学、長崎大学、長崎県立大学や長崎純心大学などの大学を目指している生徒、専門学校などに進学して看護師、理学療法士、グラフィックデザイナー、フレンチのシェフ、ウエディングプランナーを目指している生徒、消防士などの公務員や企業等への就職を目指している生徒など、その進路志望は多岐にわたります。

多様な進路志望を持った生徒たちを受け入れ、これからも地域に根差し、地域に愛され、地域から選ばれる学校創りに邁進してまいります決意です。